

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月10日更新

事務事業名		JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	5	都市基盤の健康				所属部	総務部	課長名	大茂 竜二	
	施 策	25	公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	鶴田 裕之	
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11467	根拠法令				成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年2月に菊陽町が整備したJR光の森駅駐輪場の維持管理経費について、駐輪場利用者の約半数が合志市民という実態を踏まえ、JRの利用利便性の確保と駅周辺における不法駐輪対策に協力するとの立場から、菊陽町へ維持管理経費の一部を負担金として支出する事業である。経費の負担割合は、協定により維持管理経費総額の1/4となる。
【業務の流れ】	協定に基づく負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	現在の駐輪可能台数に対し駐輪台数が多く路上駐車が見られる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
協定締結事務協定に基づく負担金支払い事務を実施した。		協定に基づく負担金支払い事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 協議回数	回	管理業務日数の減による委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
JR光の森駅駐輪場		⇒ ア 駐輪場の利用率
		%
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して利用できる		⇒ ア 安心して利用できないという苦情の件数
		件
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民が駐輪場を安心して利用できることを目的としており、苦情の有無をその指標とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア %		80	90	100	90	100	100	100	100
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	546	552	556	554	553	566	566
	(A) 事業費計		千円	546	552	556	554	553	566	566
		(A)のうち指定経費	千円	546	552	556	554	553	566	566
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	0
人 件 費	延べ業務時間		時間	100	110	11	110	11	11	11
	(B) 人件費計		千円	371	0	43	435	43	43	43
	トータルコスト(A)+(B)		千円	917	552	599	989	596	609	609

事務事業名	JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による管理が徹底すれば、今後も苦情はないものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町の年間経費に左右されるが、現状では協定による費用負担割合（1/4）によって負担しているため削減余地がない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続きのみの事業であるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐輪場は、JR光の森駅の利用者は誰でも利用できるものであり、公益性が高い施設である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の所在は菊陽町になり、菊陽町の設置条例による公の施設であり、利用者は無料となっている。

3 評価結果の総括（CHECK）

平成28年度については、予定どおり菊陽町の請求により負担金（維持管理経費総額1/4）を支出した。 JR光の森駅の利用者数は年々増加傾向にある、利用者の利便性の維持のため本事業は継続して行うべきであると考える。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策